

氏原大作 うきはら だいさく 小説家、児童文學者。明治二十八年二月、千白山口縣生れ、昭和二十一年十一月二十一日歿（九五―五）。本名原草<sup>とぼろ</sup>。小學校教員。支那事變の出征、歸還後作家生活。

著書『くくく土産』（昭和十六年六月十七日大日本雄辯會講談社）、  
『軍人保護又藝術高集・第一輯』（合著、昭和十七年八月二十日軍事保護院編輯）、『約束』（昭和十八年七月十日創根書房）、童話集『くまの笛』（昭和十八年九月二十五日金の星社）、『誕生酒』（昭和十九年十月五日大連・勝進社）、『蒼生の春』（昭和二十一年十一月二十五日大日本雄辯會講談社）、『花のくまのこ』（昭和二十一年九月二十日「日本童話會」の「くまのこ文庫」）等。